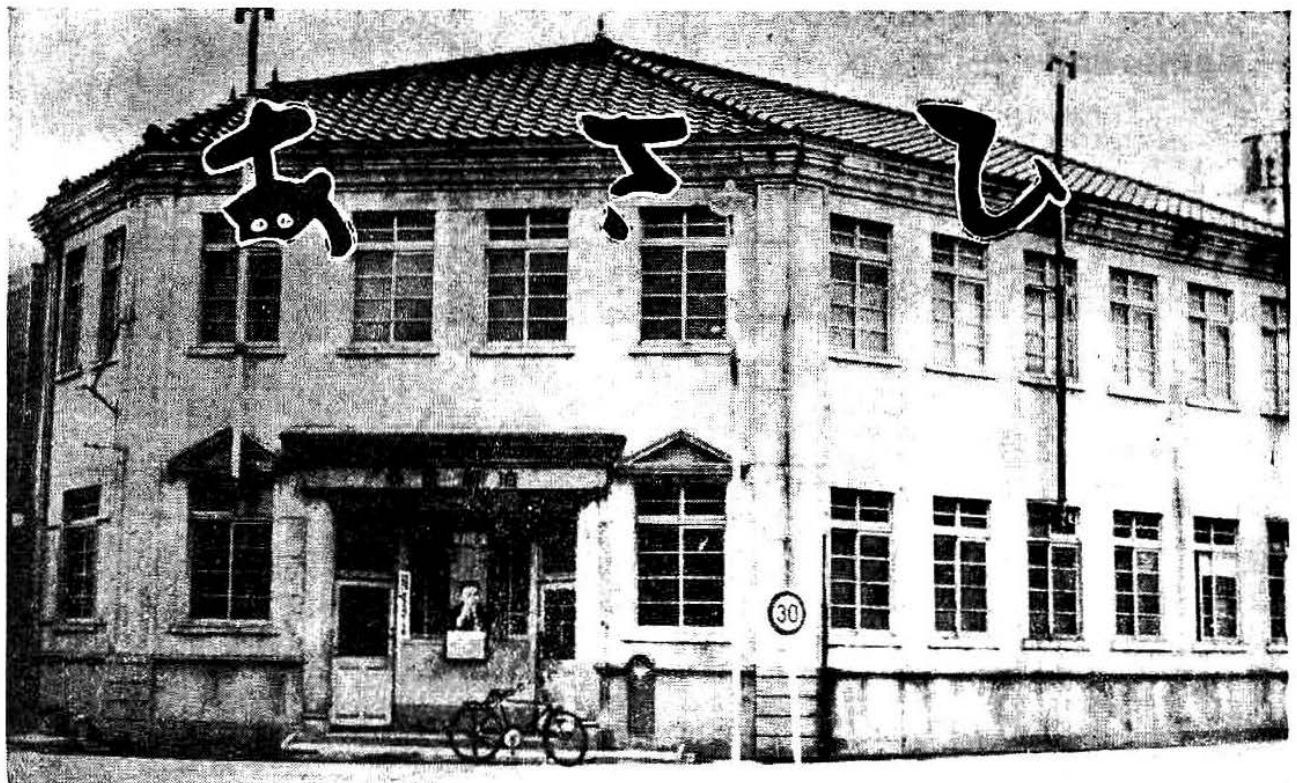




朝日町志

(8)

初代局長は月給五十銭

明治初年の文明開化期に、いろいろな外国文化がとり入れられたが、郵便法なども最も早いものの一つであった。

郵便法ができたのは明治五年三月一日で、明治五年生まれの人は今年が満九十二才である。

全国一斉に、このときに郵便局ができた。泊郵便局は泊町郵便取扱所という名称で、泊町三〇番地(現在の北銀泊支店の西隣にある農業倉庫のあるところ)に置かれた。新川県(當時はまだ富山県でなかった)職員録によると、明治五年三月一日に泊局長が任命になっている。八等郵便取扱役、丸岡伊右衛門、筆紙墨料五十銭とある。

泊郵便局

八等は郵便局の格差、筆紙墨料は月給であつたろう。三〇番地は丸岡氏の住宅であつて、氏は当時泊において名望のあつた方であつたろうと思われる。

明治二十五年三月に、泊町郵便電信局に改称している。しかし局は三〇番地であつたから、やはり丸岡氏の宅であつたろう。その後三七〇番地に移転している。三七〇番地は現在本町松岡洋品店のあたりで、二代目局長であつた松田益太郎氏の旧宅の一部である。松田氏は明治二十九年から局長であつた。明治三十

六年四月にさらに移動して四一六番地になっている。ここは旧泊劇場のあつた所で、年輩の方にはご記憶がある。三代局長には中川寛治氏が昭和元年に就任され、四代局長には現局長の中川達二氏が昭和十三年に就任、現在に至っている。

中川達二氏宅が郵便局であつたのは、昭和二年からで、現泊郵便局は昭和十三年にできたものである。

優良納税協力会へ

感謝状贈呈

町税の納税意欲を向上させるため

殿町第一協力会
横水 協力会
東草野 協力会
(税務課)

朝日町国民健康保険

優良家庭の表彰

次の方々は過去三カ年以上、家族全員が健康であつて、無診療世帯であり、また国保税期限内納入等の納税成績も優秀であるので十一月三日の文化の日に表彰しました。

蛭谷 長崎辰次郎
不動堂 川上 照雄
(民生課)

第七回議会臨時会 一〇、一一 付議事件

議案第一号 二級河川指定の件

富山県知事から次の河川を二級河川に指定することについて、意見を求められたので、朝日町としては異議なしと答申することを可決

記

二級河川に指定しようとする河川

1. 木流川

左岸 南保腰場四、九四九

議会だより

右岸 南保玄内四、九五一

下流二級河川まで 延長三、〇〇m

2. 水上谷川

左岸 大平鈴木野三六

右岸 〃 〃

下流域川合流点まで 延長二五〇m

3. オブタ谷川

左岸 大平柳原 九

右岸 〃 上柳平 九

下流域川合流点まで 延長三七〇m

4. 飛岩谷川

左岸 大平下飛岩 一

右岸 〃 〃

下流域川合流点まで 延長四五〇m

※二級河川とは、県の管理する河川

今年も十一月三日の文化の日を記念して、次の納税協力会に町長から感謝状を贈呈しました。

教育委員長に鹿熊久一氏再選



九月三十日で任期満了となった鹿熊久一委員は、十月一日付で再選された。改選後、初の委員会が十月六日開かれ、委員長に鹿熊久一委員、委員長職務代理者に竹内益太郎委員がそれぞれ再選された。

町民にご理解を求めて

朝日町議会副議長 上 島 栄 作

先般、各新聞紙上で報道されました、町長が支払証明に就いてなされた債務証明について、監査の報告も聞き、議会としては町長に注意して今後かかる行為のないようになさるべきものであります。議会が非常に混乱し、町政に対する真剣さを欠くような誤解を招いたとも考えられますので、一応釈明したいと思ひます。

おんびんに取扱ったことも私らは、現在当局と共に、一致協力して努力した工場誘致も不成功に終わりました事後処理の問題の解決や、今年二度の大災害の復旧に、天然ガスに関する土木、それに当町の将来を下すると見られる電源開発の諸問題に精力を集中している。なお、文化財調査委員、月定例会で、調査委員に折谷芳桓氏(死亡)、野田親治氏(辞職)、の後任として小川弥生氏(三枚橋)、大田弘氏(宮崎小学校長)が任命されました。

副委員長に九里道守氏をそれぞれ選出しました。

新文化財調査委員

住みよい郷土をつくる 郵便貯金増強運動中!!

郵便貯金は国民生活に結びついた貯蓄の手段として、広く利用され、あつめられたお金は市町村の各種事業に運用されております。

朝日町では次のとおり融資されています。

小、中学校建築費	3,650万円
漁港建設費	600万円
県営国道改良費	91万円
新市町村建設費	600万円
結核療養所建設費	170万円
失業対策事業費	90万円
災害復旧事業費	265万円
ごみ処理施設費	300万円
防潮林用買収費	100万円
プール建設費	500万円
合 計	6,366万円

ゆたかな家庭をつくり、明るい町を築くため、安全有利、確実な郵便貯金をいたしましょう。

(朝 郵 便 局)

伝染病の知識



インフルエンザとかぜ

法定伝染病ではありませんが、これからシーズンに入るインフルエンザとかぜについて説明します。

一、カゼの知識

私たちが一番かかるのは「カゼ」で、発熱、咳を伴ない、ときには、腰や筋肉がいたんだりします。

これはカゼのウイルスによって、鼻、のど、気管の粘膜が炎症をおこすのですが、インフルエンザはもっともたちが悪く、高い熱、頭痛、筋

肉や関節の痛み、倦怠感、食欲不振などの、全身にわたった症状をおこします。



感染経路は、カゼやインフルエンザの原因は、直接ウイルスや細菌に感染したから発病するのではなく、からだの抵抗力が衰えたときに、ウイルスが暴れ出し、発病するのです。その誘因の主なもの、冷えこみ、湯ざめ、気候、気温の変化、うたた寝、不意なウス着、不節制、過労、ゴミを吸う、たばこのすい過ぎ、気のゆるみなどです。

上気道

咽頭

三、カゼの手当

① ふうふうのカゼ

かぜを早急になおす根本対策は、「安静」、「保温」、「栄養」を十分とることです。

そして、さらに医師の診断をうけ、適当な早期処置をほどこすことです。

② インフルエンザ

流行にそなえて、予防接種をしておくことが必要です。

接種後、週間くらいで免疫体になりますから、流行期に入ってからワクチン接種ではすでにおそいのです。

免疫の効果は六カ月から一年間くらいです。毎年受けておく必要があります。

最後にインフルエンザを含めたカゼの予防の十則をあけておきます。

- (1) 予防接種を受けておくこと、
 - (2) 冷水、乾布まきつ。
 - (3) 温度の変化に気をつけよう、
 - (4) 汗のあとしまつをしよう、
 - (5) 湯ざめ、うたたねご用心、
 - (6) 不必要な外出をさけよう、
 - (7) 栄養をとろう、
 - (8) 不節制をさけよう、
 - (9) 睡眠をとろう、
 - (10) タバコ、酒も健康法の一つ、
- 当町では、月中旬より各地区において予防接種を実施いたしますので是非受けておくようお進めします
- (朝日町保健婦 更田)

昭和39年度 朝日町一般会計歳入歳出決算

歳入

△印は減額を示す

款	予算現額	調定額	収入済額	不欠損額	納入未済額	予算現額に比し増減	収入総額に対する%
1 町税	120,300,000	126,483,187	121,857,775	226,158	4,399,254	1,557,775	36.19
2 地方交付税	68,328,000	68,328,000	68,328,000	0	0	0	20.29
3 分担金及負担金	19,386,000	19,545,954	19,545,954	0	0	159,954	5.80
4 使用料及手数料	4,508,000	4,700,857	4,695,557	0	5,300	187,557	1.39
5 国庫支出金	48,521,000	48,242,645	48,242,645	0	0	△ 278,355	14.33
6 県支出金	33,684,000	33,235,666	33,235,666	0	0	△ 448,334	9.87
7 財産収入	549,000	580,490	580,490	0	0	31,490	0.17
8 寄附金	1,304,000	2,174,348	2,174,348	0	0	870,348	0.65
9 繰越金	3,009,000	3,009,346	3,009,346	0	0	346	0.89
10 雑収入	762,000	1,290,978	1,290,978	0	0	528,978	0.38
11 町債	33,800,000	33,800,000	33,800,000	0	0	0	10.04
歳入合計	334,151,000	341,391,471	336,760,759	226,158	4,404,554	2,609,759	100

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算減額に比し増減	支出総額に対する%
1 議会費	7,801,000	7,794,448	0	6,552	6,552	2.35
2 総務費	49,971,501	49,130,454	0	841,047	841,047	14.84
3 民生費	35,908,000	35,819,950	0	88,050	88,050	10.82
4 衛生費	9,916,000	9,662,802	0	253,198	253,198	2.92
5 労働費	11,356,000	11,186,734	0	169,266	169,266	3.38
6 農林水産業費	53,595,991	53,081,894	0	514,097	514,097	16.04
7 商工費	2,789,000	2,712,948	0	76,052	76,052	0.82
8 土木費	46,873,083	46,849,690	0	23,393	23,393	14.15
9 消防費	10,656,215	10,626,114	0	30,101	30,101	3.21
10 教育費	68,604,163	67,660,367	0	943,796	943,796	20.44
11 災害復旧費	13,969,567	13,957,305	0	11,762	11,762	4.22
12 公債費	22,604,000	22,545,050	0	58,950	58,950	6.81
13 雑支出	1,000	0	0	1,000	1,000	0
14 予備費	105,480	0	0	105,480	105,480	0
歳出合計	334,151,000	331,028,256	0	3,122,744	3,122,744	100

歳入歳出差引残金 5,732,503円を 昭和40年度へ繰越

昭和39年度 朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

歳入

△印は減額を示す

款	予算減額	調定額	収入済額	不欠損額	納入未済額	予算減額に比し増減	収入総額に対する%
1 国民健康保険税	20,265,000	22,506,830	20,368,110	48,645	2,090,075	103,110	44.25
2 使用料及手数料	41,000	43,460	43,460	0	0	2,460	0.09
3 国庫支出金	25,207,000	22,397,317	22,397,317	0	0	△ 2,809,683	46.66
4 県支出金	126,000	119,652	119,652	0	0	△ 6,348	0.26
5 財産収入	164,000	146,833	146,833	0	0	△ 17,167	0.33
6 繰入金	3,000,000	2,718,068	2,718,068	0	0	△ 281,932	5.91
7 繰越金	200,000	146,600	146,600	0	0	△ 53,400	0.32
8 雑収入	74,000	84,546	84,546	0	0	10,546	0.18
歳入合計	49,077,000	48,163,060	46,024,586	48,645	2,090,075	3,052,414	100

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算減額に比し増減	支出総数に対する%
1 総務費	2,917,800	2,793,130	0	124,670	124,670	5.72
2 保険給付費	44,607,000	44,567,760	0	39,240	39,240	91.29
3 保険施設費	1,442,000	1,350,962	0	91,038	91,038	2.77
4 基金積立	1,000	0	0	1,000	1,000	0
5 公債費	3,000	0	0	3,000	3,000	0
6 雑支出	106,000	105,270	0	730	730	0.22
7 予備費	200	0	0	200	200	0
歳出合計	49,077,000	48,817,122	0	259,878	259,878	100

歳入歳出差引不足額 2,792,536円

このため翌年度歳入繰上充用金 2,792,536円

好成績の小学校児童水泳記録

自由型で県下の上位を占める

六月二十四日のプール開きから、九月十八日のプール納めまで、八十七日間わたって開設しました町営プールも、管理員の熱心な職務の遂行とプールの使用者を始め、泊小中高、並びに町民各位の理解ある協力のおかげで、期間中なんの事故もなく、清潔で規則正しいプール運営ができ、町民体位と水泳水準の向上に大きな成果をあげることができました。

町民の水泳熱も年を追って高まりつつあり、町でも、体育協会との協力のもと、記録会や指導者講習会を実施してきましたが、このほど、富山県水泳連盟から発表された、昭和四十年年度県学童水泳優秀記録によると、朝日町の学童が県下の上位を占めています。

昭和四十年年度富山県学童水泳記録

朝日町関係成績

(男子)

五十歳自由型

①本田実(泊) 39秒0 ④森島祐治(南保) 41・2 ⑤清水仁司(大家庄) 41・4 ⑩小森哲也(泊) 43・4 ⑬住吉真正(大家庄) 43・6 ⑯津田義明(宮崎) 44・2 ⑳谷口一彦(南保) 45・6 ㉑藤田幹夫(大家庄) 46・2 ㉒

▽五十歳平泳

⑤土井節子(南保) 1分03秒6 ⑥中野明美(泊) 1・03・6 ⑦谷口節子(大家庄) 1・06・1 ⑧沢田幹子(大家庄) 1・13・5 ⑨水島小枝子(宮崎) 1・14・8 ⑩上沢正子(泊) 1・18・4 ⑪近藤益子(南保) 1・21・6 ⑫藤井富久子(大家庄) 1・25・2 ⑬長井一葉(笹川) 1・54・0 ⑭谷口富美子(南保) 2・04・3

▽二百歳リレー

①上井、谷口、中井、森島(南保) 2分54秒0 ②本田、九野木、寺田、小森(泊) 2・58・0 ③大久保、清水、藤井、住吉(大家庄) 2・59・7 ④津田、水島、川口、大浜(宮崎) 3・18・5 ⑤殿村、川久保、河村、坂東(泊) 3・22・0

▽五十歳自由型

①土井節子(南保) 43秒8 ②吉田えり子(大家庄) 44・5 ③井春美(泊) 44・8 ④坂口祐美(大家庄) 51・4 ⑤谷口節子(大家庄) 51・7 ⑥広川祐美子(大家庄) 52・0 ⑦大久保文江(大家庄) 1・06・4 ⑧大西康子(泊) 1・07・8 ⑨長井千鶴子(計一六、八六一人

使用日数 六十七日 使用期間中の使用状況 晴 三十七日 雨 二十四日 曇 五日 晴曇 一日 男女別入場者数 男一〇、四三人 女六、七一人 計一六、八六一人

昭和三十九年度 町営プール使用状況

開設期間 六月二十四日～九月十八日 開設日数 八十七日 掃除日数 二十日(掃除回数九回、内開設前後二回)

昭和三十九年度 町税滞納整理週間

11月24日～30日

最近、不況に便乗して、納税の義務を怠っている傾向があります。町において、十一月を町税完納の月とし、特に、十一月二十四日から三十日までを町税滞納整理週間に指定し、悪質滞納者には断固財産の差押えと即時公売処分計画をたてました。町税を完納し、明るい町づくり協力しましょう。(税務課)

月別入場人員

月別	入場人員	使用日数
六月	一、三七〇人	七日
七月	五、〇五三人	二十二日
八月	九、六九三人	二十三日
九月	七、四五人	十五日
計	一六、八六一人	六十七日

使用者区分

大人一、三六九人 学生生徒六、九二五人 児童八、五六七人 学校教科使用者数 六、六三五人 昭和四十年年度使用者総数 二三、四九六人 (教育委員会)

おわび

本誌十月号(第一二二二号)六頁の「朝日町長寿番付」に次の間違いがありましたので、訂正いたし、おわび申し上げます。

西の横綱車田ふじさんの住所が「五箇庄」とあるのを「山崎」に。

第十一回

母と女教師の会

・しつけは幼児のうちに母の手で
・みんなの力でみんなの子どもを
・幸せに

十月二十三日、泊小学校に母と女教師が百数十名集まって、元富山県教組婦人部長堂坂しのぶ先生の「現代の子どもと働くお母さん」の講演を聞き、日ごろのなやみを訴え、大いに話し合いが重ねられた。講演及び話し合いの要旨は次のようであった。



○小学校入学までの子どものしつけは、母親がしっかりした目標を持ち、自信をもってしつけよう。
・働く女性の自覚と反省から
・忙しさの中で、わずかな時間を利用して、かしくなるようつとめ
・たくさんの人と語り合い、豊かな教養を身につけることこそ、子どもを育てる「根」になると知れ。
・母が安心して働けるために、子どもの施設づくりを考えよう。
・乳児院、学童保育の問題：鍵っ子(とくに小学校一、二年)の子どもを部落の公民館などを利用して暖かく見守る手だてを工夫しよう
・中学生の進路選定における親と子の意見のくいちがいをいかに調整させるか。
・茶の間で子どもとゆくり話し合いの時間をもとう。
・子どもの特徴をよくつかみ、担任の先生の客観的指導のもと、子供に適した進路を納得のうえ真剣に考えさせよう。
○母の誠実な生き方が、打撃的な現代の子にも報酬をあてにせぬ家事への積極的な協力の姿に……など
・来年のこの会を待ちどおしい魅力ある会に育てるため、一年間のあゆみを地道にふみかためようという。



朝日町畜産共進会
盛會裡におわる

◎乳牛の産

の部

(産業課)

納期限までに所得税を完納しましょう

所得税の第二期分の納期限は、十一月一日から十一月三十日までです。
(魚津税務署)

桜町園場整備事業
— 入札結果 —

改訂土地改良区（理事長南茂幸次）は、第二次次農業構造改善事業の圃場整備事業を実施するため、九月三十日午後一時より桜町公民館において、業者十五社を招き、耕地事務所北野技師、清水産業課との立合いで入札が行なわれた。

◇第二次次農業構造改善事業の概要

圃場整備事業 三〇、八畝

三、〇〇〇円

トラクター 四六馬力一台
二、二九六千円
團場整備事業事業人札結果
第一工区 広川建設一三、四八
〇一九、〇五九千円 うちコン
クリート畦畔 七、二七二千円
第二工区 勝田組九、一〇〇
〇、〇〇〇千円 うちコンクリ
ート畦畔 三、五五二千円
第三工区 大二建設七、八七〇
一、六四六千円 うちコンクリ
ート畦畔 三、三二五千円
(産業課)

所得税の納付には
口座振替制度の利用を
国税の納付方法には、テレビ受信料、電話料金の払込みと同じく口座振替制度を利用できます。

この制度ですと、いままでの納期に金融機関へ納付書で税金を納めにいく手数はいりません。納期限までに納税額にみあう預金さえしておけば、納税については一切の手続が省略されます。

保険料の納め忘れは

自分の損です

國民年金は、保険料を毎月納めていき、途中で事故にあったり、あるいは年老いたりしたときに、生活の安定を国と被保険者が共同

は、所得がなくて保険料を納めることができない人々を除いて、月々の保険料をきちんと納めておく必要があります。

国民年金だより

た年金国民

この社会保険の仕組みで、各人明な、忘れてならないのは、事故があったときに給付を受けるためには、なんといつても保険料をかけておかななくてはならないということです。保険料をかけています。年金を受け取る資格が生まれないことをよく理解しましょう。

した事例は、保険料と年金の関係をよく理解していなかったために生じたのだといえましょう。こうしたこととあらはらに、保険料は必ず見返りのある長期の貯蓄であるということとです。それは、あななとが納める保険料にたいして国が、また半分の負担をしていることからもうかがえるでしょう。保険料はこうのように大事なものであり、またこのように有利な長期貯蓄である

保険料をかけていなくても、現ことを理解して、納め忘れないよう心がけましょう。

(民生課)

所得税の納付には

口座振替制度の利用を

国税の納付方法には、テレビ受信料、電話料金の払込みと同じく口座振替制度を利用できます。

この制度ですと、いままでの納期に金融機関へ納付書で税金を納めるにいく手数はいりません。納期限までに納税額にみあう預金さえしておけば、納税については一切の手続が省略されます。

申し込手続などについては、税務課または魚津税務署までお問い合わせください。

（税務課）

町営住宅

最終工事着工

昭和三十七年より計画着手されて
いた、町営住宅桜町団地五〇戸が、
本年をもって完成の運びとなった。
本年は第一種五戸、第二種五戸で、
工費六八四万円で、増土工務店が請
負われ、昭和四十一年一月末に竣工
の予定です。
(民生課)



農 事 教 室



今年の稲作反省

昭和四十年度の稲作を反省して、来るべき年に備えていただくために、特に問題点のあった点について述べて農家各位の参考になれば幸いです。

苗 代 期

朝日町では昨年より多少播種期が遅れた。気象的な問題もあり、異常気象がうねんされたので、一般的には、苗代期には管理が良かったようであるが、一部苗代には問題点があったので、苗半作の諺のとおり、良苗の育成に努めるべきである。

田 植 期

昨年より四、五日遅れて田植えされたことは幸いである。地温、水温を調査して、田植えが行なわれるべきである。

労働力

労働力もあるが、栽植密度について、今少し坪当たり多く植付けした方が良かったのではないかと考えられる人が多くなりつつある。

本 田 管 理

水稲は水の管理が大切であるので本年のような年は、特に灌排水に努

力すべきであったのである。
施肥量については、早期の量より晩期の量を多くして、稲を最後まで健全に生育させるべきである。異常気象の年で、七月二十一日前作に低温が現われたが、幸いに生育限界温度までは低温にならなかったが、七十二度位までの、大変涼しい七月の天候であったので、その後の生育に問題があった。
出穂後の追肥は、二、三回施した方が増収となった年であった。

病 虫 害 防 除

稲熱病については、朝日町では六

月二十六日まで発見されなかったように、珍らしく発病が遅れた年で、やはり特筆すべき年である。遅く発病すると、農家の関心が低いので、問題点がある年が多いが、幸いにも朝日町では少なかった。一部を除き七月二十七日から空中防除が行なわれ、天候にも恵まれ、効果は高かった。ところにより、中生種に穂首イモチ病が出たが、やはり防除しないと枯葉が出るのである。
害虫は朝日町としては、多く発生した年である。共同防除しないとや

害 虫 害 防 除

本年の稲作は、台風の被害がなけ

れば豊作型であったのである。それは稔実期に入ってから気候は、日中が温度が高く、朝晩が涼しい気温で、日温カクサのあった年である。このため、早生種の千粒重は、昨年より平均して一、二g重くなったのである。この要因で、早生種は豊作の人が多かったのであります。また一面倒伏の少なかったこともプラスとなっています。今後の稲作は刈取機が取り入れられてくるので、倒伏しない栽培法が特に研究をきわむべきである。

中晩生は、台風のため稔実が悪く、ために県下では問題の年であった。幸いにも米賈が昨年より良かったので、上位等級が多かったのは、産米改良の見地から喜ばしいことである。
今のうちに本年の稲作を反省し、一枚一枚記録していただき、来るべき年に備えていただければ幸いです。(朝日農業改良普及所)

全国秋の火災予防週間

11月26日～12月2日

週間中は、朝夕二回サイレンを吹鳴し、消防署員、団員が予防査察にまわりますから協力ください。

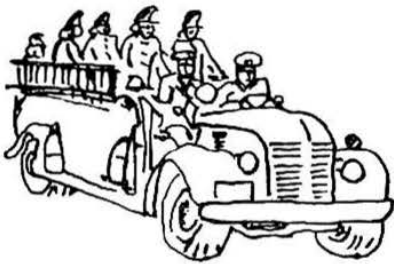
採暖の時季となり、石油ストーブやコンロ、コタツなどは、使用する前によく点検整備してから使ってください。特に石油ストーブ類は使っているときよりも、使わな

いでおいてある期間中にサビが出て、ボロボロになることが多いのですから、必ず点検してください。

消防署だより

また、燃料(燈油)は二〇〇立ドラム入りのまま、木造の玄関や軒下におくのは消防法に反しますから、必ず消防署に届け出、許可を受けた後、指示された安全な場所に保管しなければなりません。

届出しないでおける危険物の量の一例は燈油一〇〇立未満、ガソリン二〇立未満までです。



北 電 か ら

秋季サービス旬間の実施

十一月十日～十九日

北陸電力では、十一月十日から十日間を「北電サービス」強調旬間として、よい社会、明るい町、楽しい家庭づくりに協力するため、次のようなサービス行事を行います。

記

一、家庭電化器具のアドバイザー

二、中学校の電気施設無料診断

三、教材用黒板灯の寄贈

四、その他需要サービス訪問など

(北陸電力相模営業所)

図 書 案 内

朝日町立中央図書館

禅と数学	坂井豊
毘のある季節	堀山季之
榎本武揚	安部公房
婦化人	上田正昭
采女	門脇誠二
おしゃべりな真珠	今東光
たたかう北ベトナム	窪田精
漬物と果実酒の作り方	手塚みさお
ときの声	古屋信子
パレーにかけた青春	河西昌枝
恍惚	中村真一郎
道路地図	若木書房
妻たち	瀬戸内晴美
勝海舟	子母沢寛
後継ぎはいないか	毎日新聞社
秘められた昭和史	毎日新聞社
日の丸部隊	藤井重天
花と日輪	富田常雄
人形姉妹	円地文子
花の浮草	石川達三
知覧	高木俊朗
夜の終る時	結城昌治
陽貴妃伝	井上靖
人物日本歴史	小説新聞社
家庭の医学	小学館
なせ	松下幸之助
つる植物の栽培	山中雅也
白い巨塔	山崎豊子
家事	主婦と生活社
聖少女	倉橋由美子
流離	石川達三
時事年鑑	時事通信社
女人武蔵	石川松太郎
砂の花	石原慎太郎
介慶 一、二、	富田常雄
テレンジワ自伝	宮崎一夫
おきん	水上勉
坂本竜馬	山岡荘八

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 朝日町印刷
送料 六円
定価 六円